

「縦隔(胸腺)大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」へ

のご協力をお願い

—1995年1月から2011年12月の間に当科において造血幹細胞移植を受けられた縦隔(胸腺)大細胞型 B 細胞性リンパ腫の方へ—

研究機関名 岡山大学病院

責任研究者 岡山大学病院 血液腫瘍内科 助教 近藤英生

1. 研究の意義と目的

縦隔原発大細胞 B リンパ腫 (PMBL) は比較的稀な疾患です。現在は、リツキシマブ併用化学療法が標準治療であり、治療成績は向上しています。しかし、再発、抵抗性である場合は、通常化学療法だけでなく、造血幹細胞移植による治療が積極的に行われます。欧米からは、造血幹細胞移植の成績が報告されていますが、残念ながら日本からの報告は、まだありません。日本造血細胞移植学会 造血細胞移植症例の一元化登録事業に登録された成績を解析し、日本における現状を把握することによって、今後の治療に大変参考になります。

2. 研究の方法

1) **研究対象** : 1995年11月から2011年12月の間に造血幹細胞移植を施行された縦隔(胸腺)大細胞型 B 細胞性リンパ腫患者

2) **調査期間** :

平成 25年 4月 1日 ~平成 25年 6月 30日

3) **研究方法** :

今までに造血幹細胞移植を施行された方の造血細胞移植一元化登録事業への登録データを解析します。治療に関する介入はなく、人体試料は採取しません。

4) **調査票等** :

調査票ファイルには、年齢、性、カルテ番号以外の個人情報 (イニシャルなど) を記入しません。調査票ファイルは研究事務局で保管します。

5) **情報の保護** :

調査票ファイルには、年齢、性、カルテ番号以外の個人情報 (イニシャルなど) を記入しません。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成 25年 6月 30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 血液腫瘍内科 助教 近藤 英生

電話 : 086-223-7151